



## 「子どもを育てる学校」から「子どもが育つ学校」へ

副校長 福岡 三佐子

「副校長先生、見て!見て! ヤゴがトンボになったんだよ!」

2年生の教室付近を通りかかると、水槽を取り囲むたくさんの子どもの姿がありました。水泳学習の開始に向けたプール清掃の際に「救出」したヤゴが、ついにトンボになったのです。

すべての子どもが虫好きとは限りません。それでも子どもたちは、ヤゴとの出会いをきっかけに、日々の世話を通して愛着をもち、その変化に心を躍らせていきます。そして、「もっと知りたい」「もっと関わりたい」という思いをふくらませていきます。図書室で調べたり、理科担当の教員に質問したり、友達と情報を交換したりする姿は、子ども自身が学びの世界を広げている姿と言えるでしょう。



子どもの学びを支えているのは、「もの」だけではありません。

子どもは、日々さまざまな「ひと」との関わりの中で成長しています。友達とのやり取りや異学年との交流、地域の方との出会いなど、自分とは異なる考えや価値観に触れることで、視野を広げ、心を豊かにしていきます。これまで学校は、「子どもを育てる場」として、教師が中心となって教育活動を進めてきました。しかし子どもたちの姿を見ていると、他者との関わりの中で自ら学び、気づき、成長していく力が確かに育まれていることを実感します。子どもは、多様な関係の中で「自ら育っていく」存在なのです。

折本小学校では、これからも、子どもが多様な関わりの中で主体的に学び、その世界を広げていくことのできる学校づくりを進めてまいります。学校・家庭・地域がそれぞれの強みを生かしながら、折本の子どもの成長をともに支えていきましょう。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### ☆教育支援ボランティアの登録をお願いします☆

折本小学校では、教科等の学習支援、校外学習見守り、運動会等の行事準備・片付け等の補助など、様々な場面でボランティアを募集しています。応募は、都度、アプリ「Hi!」を通してお願いしております。現在ご予約のない方も、ぜひこの機会にご登録ください。詳細は今回配信のすぐーる本文をご覧ください。

\*すぐーるをご覧いただけない方は学校までお問い合わせください(担当:副校長)